

繰返される墜落死傷事故！

米軍新型輸送機 MV22 オスプレイ 日本配備に反対！

証明されたオスプレイの危険性

今年の9月にも沖縄県の米軍普天間基地へ本格配備が予定されている米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが、4月11日、墜落事故を起こしました。アフリカ北部モロッコの南西部でのモロッコ軍との合同演習中に墜落したということです。搭乗していた海兵隊員2名が死亡、2名が重傷を負ったということです。事故の原因や発生状況などについての情報は伝えられていません。

オスプレイは、ヘリコプターのように垂直に離着陸することもできる米軍の最新輸送機です。しかし、開発段階で墜落事故が相次ぎ30名が死亡、実戦配備後も墜落事故を繰り返し死者をだしていることから、「欠陥機」と、その危険性が指摘されてきました。沖縄の反基地運動もその危険性を訴えて、県内へのオスプレイ配備反対を訴え続けてきていました。そんな中で発生した今回の墜落事故は、オスプレイの不安定性、危険性を証明したといえます。

政府は普天間配備計画に変更なしの姿勢！

この墜落事故の原因や発生状況が一切明らかにされていないにもかかわらず、日本政府は、「地元での安全性、騒音に対する懸念があるとすれば、引き続き今後とも丁寧に説明していく」（藤村修官房長官）と計画通りオスプレイ配備を進めていく姿勢を示しました。「丁寧に説明」すれば危険なものが安全になるとでもいうのでしょうか？

米軍の意向・利害を代弁し、沖縄県民・基地周辺住民の生活・生命をないがしろにする、相変わらずの日本政府の姿勢に抗議します。

沖縄だけの問題ではありません

また、日米両政府は、このオスプレイを、普天間配備前に7月にも本州の米軍基地などに一時駐留させ、試験運用をするという方針を示しています。岩国基地やキャンプ富士、そして私たちの生活の場からすぐ傍の横田基地が想定されていると言われていています。安全性をアピールする狙いとされていますが、国民を危険にさらして安全性をアピールなどとは許せません。（⇒裏面につづく）



オスプレイの事故映像

ニコニコ動画より

(⇒表面からのつづき)

宜野湾市は、オスプレイ配備反対の市民大会開催！ 岩国・横田の周辺住民・自治体からも配備反対の声！

普天間基地のある宜野湾市は、「オスプレイの米軍普天間飛行場配備に反対する市民大会」を6月17日に開催する準備を進めています。岩国基地のある山口県と広島県西部の住民団体は、岩国基地をはじめ、国内にオスプレイを配備させないよう求める要望書を岩国市に提出しました。横田基地周辺住民・自治体も反対の声を上げています。6月30日には「オスプレイは沖縄にも横田にもいらない」という行動も準備されています。危険なオスプレイの日本配備反対の声を全国から上げていきましょう！（2012.4.22）



free-photos.biz より

米軍に抗議！ 原因説明前に事故機飛行再開 厚木基地のジェット電子戦機プラウラー

2月に、厚木基地北側の県道に、大きな部品（機体の一部分）を落下させ、走行中の車に衝突させるなどの事故を起した米海軍ジェット電子戦機プラウラーが、12日に厚木基地から米本国に向けて飛行していききました。そのために、すでに3月30日には試験飛行を周辺自治体が反対する中で強行していました。

あわや大惨事という落下事故について、原因説明はまだされていません。米軍側は、6ヶ月以内に調査を完了させるとしている状況です。人口密集地の厚木基地周辺で、事故の原因が解明される前の事故機を飛行させるとは許せません。周辺住民の命を危険にさらすことを何とも感じない米軍の感覚に、強く抗議をします！（2012.4.22）

学習会の案内

米軍再編の見直しと、沖縄の民意…。 松元剛さん(琉球新報政治部長)に聞く。

日時：5月19日(土) 18:30～
会場：プロミティふちのべ2AB会議室
(JR横浜線・淵野辺駅南口下車3分)

資料代：当日 500円
主催：相模補給廠監視団
キャンプ座間への米陸軍第一軍団の移駐を
歓迎しない会

松元剛さん◆プロフィール

1965年、那覇市生まれ。89年、琉球新報社入社。沖縄にとどまらず、広く海外、本土の基地も取材。基地問題に関する編著書も多数。特に日米地位協定問題では、抜本的改訂の論陣を張る。「琉球新報」は「沖縄タイムス」とともに、沖縄県民の立場に立つ地元紙。